



News Release

2023年7月27日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
北海道支所

夏もやっぱり火の用心！ ～アウトドア調理時のNG行動～

1. 事故の発生状況

2017年度から2022年度の間、NITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{※1}のうち、アウトドア調理時に使用するガス製品^{※2}の事故は、北海道で合計4件ありました。

(1) 年度別事故発生件数

アウトドア調理時に使用するガス製品の年度別事故発生件数を表1に示します。

表1 年度別事故発生件数（2017～2022年度）

発生年度	カートリッジガスこんろ	ガストーチ	合計
2017年度	0	0	0
2018年度	0	0	0
2019年度	0	1	1
2020年度	1	0	1
2021年度	0	1	1
2022年度	0	1	1
合計	1	3	4

(2) 被害状況別事故発生件数

アウトドア調理時に使用するガス製品の被害状況別事故発生件数を表2に示します。

表2 被害状況別事故発生件数（2017～2022年度）^{※3}

被害状況		カートリッジガスこんろ	ガストーチ	合計
人的被害	死亡	0	0	0
	重傷	0	0	0
	軽傷	0	0	0
物的被害	拡大被害	0	3	3
	製品破損	0	0	0
被害なし・不明		1	0	1
合計		1	3	4

- (※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含みます。
- (※2) 本資料では、アウトドア調理時に使用するガス製品として、「ガスカートリッジ」、「ガストーチ」、「カートリッジガスこんろ」を対象としています。
- (※3) 人的被害（死亡・重傷・軽傷）が複数同時に起きている場合は、最も重篤な分類で事故件数をカウントし、重複カウントはしていません。また、製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としています。

2. アウトドア調理時に使用するガス製品の事故事例

(1) カートリッジガスこんろの事故事例

○2020年11月（北海道、年齢不明・女性、初回使用、被害なし）

事故内容：カートリッジガスこんろを点火したところ、ボンベ接続部付近から火が出た。

事故原因：カートリッジガスこんろのガスケットをステムに装着する組立工程で、ガスケット内部に異物が付着したまま組み込みを行ったため、ガスケットとステムの間の気密が確保できなくなり、ガス漏れが生じたものと推定される。

(2) ガストーチの事故事例

○2021年10月（北海道、20歳代・男性、使用期間約3か月、拡大被害）

事故内容：ネット通販で購入したガストーチを点火したところ、本体付近から出火し、周辺を焼損した。

事故原因：ガストーチのカセットボンベ取付部に使用されたリングの幅、厚みが不足していたことから、取付部でガスが漏れて点火火花により引火したものと推定されるが、製造事業者等が不明であり、設計や製造に関する情報が入手できず、事故原因の特定はできなかった。

3. アウトドア調理時の火の扱いで気を付けるポイント

●ガス製品の使用前に気を付けること

○製品とガスカートリッジの接続部に劣化や汚れがないか、正しく接続できているか確認する。

○点火前に異音や異臭がしないかをチェックし、ガス漏れしていないことを確認する。

●ガス製品の使用中に気を付けること

○こんろ全体を覆うような大きな鍋や鉄板などの放射熱の大きな調理器具は使用しない。

○ガスカートリッジが過熱されるような、誤った使い方をしない。

●炭の使用時に気を付けること

○カートリッジガスこんろを使って炭の火おこしをしない。

○ガストーチを使用する際は、大きく傾けて使用しない。

○一度火を点けたら、着火剤の継ぎ足しをしない。

4. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

(本件に関する問い合わせ先)

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者:佐藤、長谷川

電 話:011-709-2324